

ごてんば社協だより

# ひだまり

一番つらい時に一緒にいてくれた…  
東山・二の岡生活支援お助け隊 発足



利用者 よしゆきれいこ  
吉行麗子さん

支援員 せりざわまさえ  
芹澤正枝さん

国道と高速道路が交差する交通量の多い地域ながら、公共交通機関が不足している東山・二の岡地区。

令和3年に民生委員児童委員と地域のボランティアが協力し、デイサービスあざみと市社協所有の車両を借用して月2回の買い物支援を開始しました。

活動する中で、免許返納者や自動車を所有していない65歳以上の高齢者のニーズに応え切れていないことに課題を感じていました。そんな中、市社協生活支援コーディネーター等のサポートの下、市行政・地域包括支援センターさくら通り・御殿場地区民生委員児童委員協議会・御殿場地域福祉推進委員会と連携しながら、生活支援サービスなどと移動支援の一体運送を地域住民が主体となって開始することとなりました。

詳しくは次ページを御覧ください。



市社協マスコットキャラクター  
「ふくっぴ〜」

# 「東山・二の岡生活支援お助け隊」の活動を紹介します!!

東山・二の岡生活支援お助け隊は、令和5年11月にスタートした、東山・二の岡区民同士が助け合い、ちょっとした困りごとを解決する生活支援事業です。

## 利用できる方

東山・二の岡地区在住で、公的福祉サービス以外の支援を必要とする方（高齢者世帯、障害をお持ちの方）

## 主な支援内容

- ・家事支援・援助
- ・移動支援（同行・付き添い）



支援員 高山さん

▲窓ふき



支援員 高山さん

▲草取り



▲通院



市社協マスコットキャラクター「ふくっぴ〜」

利用会員の移動支援を含む生活支援の要望に対し、支援員が対応します。有償ボランティア活動（15分150円事前チケット購入制）です。支援員・利用会員ともに登録制（現在利用会員18人）で、代表米山さんが事務局となり調整等を行っています。

## 代表の声



代表 米山喜興志さん  
よねまさきよし

「車のない日常生活が来るとは思わなかった」「先々のことを思うと不安ではない」…

このようなお声にこたえるために、「買い物支援サービス」を開始しましたが、更なる支援の必要を感じ、先進事例先の実例や、「あったかサポート（住民参加型生活支援事業）」の軽微な生活支援事業を取り込んだ新しい支援の形としてスタートしました。きめ細やかな支援と地域の温かさに、支援のたびに喜びの声を頂いております。地域福祉の質の向上に寄与していきたいと思っております。

## 利用者の声

利用者 吉行麗子さん（表紙左側の方）  
よしゆきれいこ

九州出身で御殿場に知人はおらず、子供たちは離れて暮らしています。主人が亡くなり、通院などは一緒にお友達に連れて行ってもらったり、草取りや窓ふきなどは業者に頼んでいました。民生委員さんが訪ねてきて

くれて、お助け隊の存在を知ることができました。今ではお助け隊に助けられ、日々の生活を送ることが気楽になりました。ボランティアさんが来てくれる日を楽しみにしています！

地域の方でも、企業の方でも、学校の方でも！  
皆さん一人ひとりの力が集まれば何かできる！！  
東山・二の岡生活支援お助け隊のように！

## お問い合わせ

御殿場市社会福祉協議会 地域福祉課  
電話 0550-706801





# 有限会社二の岡フーズ様

## ～車両贈呈式～

1月22日（大安）、有限会社二の岡フーズ様から軽自動車日産ルークスを御寄附いただきました。  
この車両は、東山・二の岡生活支援お助け隊で、市内で展開している住民主体の移動支援事業で活用させていただきます。



▲市社協 三井米木会長／(有)二の岡フーズ 代表取締役 芹澤卓司様



ありがとうございます  
ございました  
有効に使わせて  
いただきます

市社協マスコットキャラクター  
「ふくっぴ〜」

### ■背景

全国的に、高齢者の生活する上での困りごと（外出を含む。）の需要が増加しています。要因は少子高齢化、人口減少、核家族化の進行など様々で、高齢独居、高齢者のみの世帯が増加傾向にあります。

介護保険制度の給付サービスで対応するのは、すでに限界。高齢人口の増加とともに要介護認定者も増えていきます。介護が必要となった主な原因は「認知症」が最も多く、社会との多様なつながりがある人は認知症発症のリスクは半減するといわれています。

### ■現状

御殿場市では、住民主体の移動支援事業を現在9カ所で開催。通いの場への移動支援3カ所、買い物支援5カ所、そしてより個別の支援を実現するために生活支援お助け隊の活動が始まりました。

### ■生活支援の詳細

チラシのとおり、お助け隊の支援内容は、「家事支援・援助」と「移動支援」の2つになります。家事支援・援助は草取りや窓拭きなどちょっとした困りごとを支援するものです。移動支援は、病院、金融機関、薬局などへの同行・付き添いとなっています。

# 生活支援サービス などとの一体運送について

## 東山・二の岡 生活支援お助け隊

#### 生活支援

**家事支援・援助**  
移動支援（同行・付き添い）  
・病院  
（診察・リハビリ・薬局・検査）  
・金融機関  
（銀行・信金・JA・郵便局）  
・ホームセンター  
（カインズ・ケヨーヨー・エンチョーほか）  
・スーパー  
（食料品店・ドラッグストアほか）  
・地域行事への参加  
・通いの場への参加  
・美容院・理容所  
・その他相談に応じて。

#### 有償ボランティア

- ・年会費は1,000円です。  
（6か月未満は500円となります。）
- ・利用される方は15分150円のチケットを事前にご購入いただき、交換をされた後利用をチケットでお支払いください。
- ・ボランティア（支援員）は、運転者講習等を修了した人で、充分な保険に加入して活動します。

#### 利用できる方

- ・高齢の方
- ・お一人暮らし又はご夫婦で生活支援が必要な方
- ・運転免許証を返上したいが、返すと移動手段がなくなる方

障害をお持ちで生活支援が必要な方

#### 利用方法

- ・ご利用の3日前までに事務局へご連絡ください。
- ・当日、体調不良（体温37度以上又は風邪気味である等）の場合は利用をご遠慮ください。その場合は事務局へ必ず連絡してください。

このサービスは、御殿場市高齢者生活支援体制整備事業の一環として、御殿場市・御殿場市社会福祉協議会・地域包括支援センターさくら通り・御殿場地区民生委員児童委員協議会・御殿場地域福祉推進委員会のご支援、ご協力の下、地域の皆様と一緒に取り組んでいます。



市社協マスコットキャラクター  
「ふくっぴ〜」

令和6年度  
社会福祉協議会  
事業計画

「地域でつながり、だれもが笑顔あふれ、安心して、いきいき暮らせるまち」を推進する組織として、市社協の積極的な事業の展開が期待されています。これらに答えられるよう、職員一人一人の力を結集し、一丸となって事業を推進してまいります。

重点目標

- ① 移動支援サービス(生活支援サービス)などの一体運送を含む。)の創出
- ② 成年後見事業(任意後見制度に関する調査研究を含む。)の推進
- ③ 包括的相談支援体制整備事業の実施
- ④ 第5次地域福祉活動計画の推進
- ⑤ 経営事業体としての組織体制整備と財政基盤の強化



高齢者等の生活支援を目的として移動支援の輪を広げていきます

▶ 印野地区買い物支援グループ



▶ 成年後見制度啓発講演会

増加する認知症高齢者等の権利擁護に取り組みます



地域共生社会の実現を目指し、共生型居場所の普及・拡大を図ります

▶ もりのこしみんなの居場所



5カ年の中期計画に基づいて事業を推進します

令和6年度 ボランティア活動保険 加入手続き受付中

ボランティア活動保険 年間保険料

プラン	保険料
基本プラン	350円
天災・地震補償プラン (基本プラン+地震・津波・噴火による死傷)	500円

ボランティア活動保険は「ボランティア活動中や活動場所への往復途上にけがをしてしまった」「他人にけがをさせてしまった」「物を壊してしまった」などの万が一の事故を補償します。

補償期間 令和6年4月1日～令和7年3月31日  
(※中途加入の場合は加入手続き完了日翌日～令和7年3月31日)

申込み・問合せ 御殿場市社会福祉協議会 電話 70-6801



## 令和6年度 当初予算の概要

社会福祉協議会は、住民の皆様からお寄せいただく会員会費、寄附金、県・市からの補助金・助成金・受託金、共同募金配分金、介護保険・障害者総合支援法によるサービス等の収益を財源として、各種の福祉事業を実施しています。

### 収入内訳予算額

単位：千円

収入内訳	予算額
① 会費収入	11,938
② 寄附金収入	3,100
③ 経常経費補助金収入(共同募金を除く。)	40,020
④ 共同募金配分金収入	10,547
⑤ 受託金収入	180,981
⑥ 貸付事業収入	562
⑦ 事業収入	12,370
⑧ 負担金収入	644
⑨ 介護保険事業収入	173,441
⑩ 障害福祉サービス等事業収入	61,398
⑪ 収益事業収入	2,116
⑫ 受取利息配当金収入	12
⑬ その他の収入	3,129
⑭ 前期末支払資金残高	50,947
収入合計	551,205

### 支出内訳予算額

単位：千円

支出内訳	予算額
① 法人運営事業	58,290
② 地域福祉活動推進事業	50,607
③ 在宅福祉推進事業	17,434
④ 共同募金配分金事業	14,212
⑤ 小口資金貸付事業	1,077
⑥ 地域包括支援センター事業	29,375
⑦ 居宅介護支援事業	51,329
⑧ ホームヘルパー事業	28,011
⑨ 老人デイサービス事業	80,880
⑩ 生活介護事業	60,397
⑪ 御殿場市民交流センター事業	113,527
⑫ 東田中塚本踏切高架下駐車場事業	1,681
⑬ 施設整備等支出	2,469
⑭ 積立資産支出	4,952
⑮ 予備費	36,964
支出合計	551,205



▲パワフルな喜山志津香講師

2月20日(火)、コミュニティサポートオフィス企画研修講師喜山志津香様を講師に迎え、市内社会福祉施設等職員19人が「アンガーマネジメントと苦情対応」について講義を受けました。

この内容は、市内法人の皆さんからの御意見を基に企画。怒りを静めるためにはまずは6秒待つこと。そして、自分をたくさん褒めてあげて穏やかな日々を過ごせたら良いとのことでした。

即、実践に役立つ研修だったと参加者から感想が寄せられました。

まずは6秒!!

「絆(わ)」研修会  
ごてんば福祉施設協働事業



▲各法人の交流（グループワーク）



市社協マスコットキャラクター  
「ふくっぴ〜」

社会福祉協議会は、移動支援サービスの創出に取り組んでいます。

# 感謝のページ

令和5年11月～令和6年3月31日まで

市社協へ御寄附を頂き厚くお礼申し上げます。  
寄せられた御寄附は、有効に活用させていただきます。  
(敬称略・順不同)

## 金員の寄附

伊達直人  
新橋婦人会  
第36回報徳文化祭実行委員会  
竈区

夢咲子  
渡邊章夫  
玉穂地区の街づくりを考える会  
茱萸沢下区文化祭バザー  
原・八町地部農会

一般社団法人玉穂報徳会  
江藤エミ  
株式会社スズキ総業・スズキ総業グループ  
中郷館ボーセレンアート同好会  
川合岩雄

御殿場市婦人会連絡協議会  
林昌寺  
住電装プラテック(株)

海野克比古  
海野桂子  
栢ノ木ひだまりの会  
滝口政味  
遠藤徳一  
匿名5件

## 物品の寄附

マリナー・イワシチエンコ  
ドキわくランド御殿場店  
有限会社二の岡フーズ  
宮崎幸枝  
ジェイビルジャパン株式会社  
木下明美  
匿名9件

温かい、  
お心遣い、  
誠にありがとうございます。  
有効に使わせて  
いただきます。



# 令和6年能登半島地震災害義援金寄附者一覧

令和6年4月8日現在市社協でお預かりした義援金総額458万2,206円はすべて被災地へ送金しました。

## 石川県被災者支援分

夢 咲子 順不同・敬称略  
大雲院  
末光義史  
佐藤裕昭  
石川 昭  
御殿場市婦人会連絡協議会  
富田雄一  
身体障害者福祉会高根支部  
勝間田通夫  
土屋克己  
トンボ食堂  
御殿場西高等学校  
御殿場市福祉事業協力会  
ボイススカウト御殿場第6団  
小林真由美  
清進塾  
オカリナの会  
深沢区  
公益財団法人隊友会御殿場・小山支部  
竈区  
印野婦人会  
玉穂婦人会  
原里婦人会  
高根婦人会  
御殿場地区婦人会  
巢瀬武士  
朗読奉仕グループくろつくみの会  
明るい社会づくり運動御殿場地区協議会  
西田中ゴルフ愛好会  
御殿場小山塗装看板事業協同組合  
株式会社エクスセル東海  
シニアクラブ御殿場市  
勝間田志ん子

## 萩原区 仁杉区

竈報徳社女性部  
労働者協同組合ラーカースコープ・センター事業団  
栢ノ木区  
つぼぐちグループ

二枚橋五組秋葉講一同  
御殿場市民生委員児童委員協議会  
沼津年金協会御殿場支部  
御殿場椿の会椿まつり呈茶席  
一般社団法人御殿場愛郷報徳社  
一般社団法人竈報徳社  
御殿場市社会福祉協議会(窓口募金箱 ※合計5回  
匿名12件

## 富山県被災者支援分

富田雄一

## 新潟県被災者支援分

富田雄一



シニアクラブ御殿場市会員3,628名が「善意の1円玉募金」として、1年間に集めた50万円を寄附してくださいました

# 令和6年 能登半島地震への社協(社会福祉協議会)の対応について

## 1 能登半島地震概要

令和6年1月1日(月)16時10分ごろの地震(マグニチュード7.6)により、石川県内で最大震度7が観測され、各地で甚大な被害が発生しました。

地震活動は依然活発な状況で、現在も余震が続いています。

3月19日現在、人的被害は死者241人、負傷者1,299人、住家被害は110,287棟(全壊8,795棟、半壊18,761棟、一部損壊82,706棟、床上浸水6棟、床下浸水19棟)が報告されています。



## 2 県下社協職員の被災地への派遣

### (1) 災害ボランティアセンター運営支援

1月19日に、全社協(全国社会福祉協議会)、被災地の県社協(石川県社会福祉協議会等)による情報共有会議が行われ、静岡県下社協が所属する「関東Bブロック」は1月末から3月末まで1クール6名体制で、運営支援のため石川県の「中能登町」及び「七尾市」の災害ボランティアセンターへ職員を派遣することが決まりました。

その他のブロック派遣は、「東海北陸ブロック」が輪島市、珠洲市、能登町、「関東Aブロック」が内灘町、かほく市、「近畿ブロック」が七尾市(再掲)、羽咋市、志賀町、「中国ブロック」が穴水町を担当し、各災害ボランティアセンターの運営支援に当たりました。

### (2) 中能登町災害ボランティアセンターでの活動



▲スタッフ会議の様子



▲中能登町災害ボランティアセンター本部



▲ボランティアによる活動風景



▲ボランティアオリエンテーション

### (3) 今後の災害ボランティア活動の見通し

全社協等からの要請に基づく職員の派遣は3月末でいったん終了しますが、今後も災害ボランティアによる被災者支援活動が必要な状況は続きます。

これまで移動手段、宿泊場所の確保等の課題もあり、個人単位のボランティア募集は石川県内在住者等に限定されていましたが、徐々にその範囲が県外にも拡大されています。

市社協による災害ボランティアバスの運行が可能になった際には、市民の皆様へ募集について改めてお知らせいたします。



# 国土交通大臣認定 「福祉車両運転者講習」 受講者募集!!



受講料  
無料



▲座学



▲実技

移動支援の担い手の拡大、さらに高齢者、障害のある方等を支える人の養成を図ります。  
あなたも地域の中で「移動」に困っている方の外出支援をしてみませんか？

日時

令和6年5月23日(木)・24日(金)  
両日共に午前9時から午後4時まで

場所

・市民交流センター「ふじざくら」  
・市内公道

対象者

運転ボランティア活動に関心のある市民

内容

- ・福祉車両の特性
- ・道路運送法、関係法令
- ・高齢者の生活等
- ・運転介助
- ・リスクマネジメント等

受講料

無料

定員

15名

※申込み多数の場合抽選となります。

講師

認定NPO法人  
かながわ福祉移動サービスネットワーク

申込み

5月13日(月)までに電話又はFAXでお申込みください。

電話 (70-6801)

FAX (89-5501)

2日間全日程を修了された方には国土交通大臣認定修了証を発行します。